DOCOMO TEAM DANDELION RACING
Team Release

決勝レポート
2026/11/21　Rd-11　鈴鹿サーキット

天候：晴れ　　気温：13℃　　出走台数：24 台

2026 シーズンファイナルとなる JAF グランプリ鈴鹿 2 連戦は、今シーズン 4 勝を挙げ首位に立つ太田選手と、昨年チャンピオンで連覇を狙う岩佐選手の一騎打ちとなる。
ポールポジションの岩佐選手の後ろ 2 列目 3 番グリッドからスタートする太田選手は、2 位以上でゴールすれば、ライバルの結果に関係なくドライバーとチームタイトルのダブルタイトルを決められる状況。
迎えたスタート、太田選手は 3 番手で 1 コーナーに入るが、200R で野尻選手を攻略し 2 番手に。牧野選手は、抜群のスタートで 2 ポジションアップの 5 番手でオープニングラップを周回する。
7 周を終了しピットウインドウが開くと、チームは 5 番手走行中の牧野選手をピットに呼びタイヤ交換を済ませる。これで牧野選手はタイヤ交換組の 2 番手となり、ステイアウト組とのマージンを稼ぎたいところ。しかしその直後の 10 周目にデグナーでスピン車両が発生したためセーフティカーが導入される。このタイミングで岩佐選手と太田選手はともにピットへ。これで岩佐、太田、野尻、牧野の順でレースは後半戦に。
23 周目のシケインでは、太田選手と野尻選手があわや接触というバトルもある中、太田選手は 2 位を守り切り、牧野選手も 4 位でフィニッシュ。
これで DOCOMO TEAM DANDELION RACING はチームタイトルを、太田選手はドライバータイトルのダブルタイトルを、最終戦を待たずに確定させた。

5：牧野任祐選手 4 位

決勝中も問題は解決できないまま戦う展開でした。
ただそんな中でもスタートで順位も上げられ、戦略も良く、4 位でフィニッシュ出来ました。ただペースはまだ足りなかったですね。
チームタイトルに貢献できたし、太田選手のチャンピオンも決まり、その点はとても良かったです。
明日の最終戦に向けて課題を解決し、気持ち良くシーズンを終えたいです。

6：太田格之進選手 2 位

決勝は 1 周目に集中して臨みました。オープニングラップで 2 位にポジションを上げることが出来たことがポイントでした。あそこで 3 番手のままだったら今日タイトルを決めることはできなかったかもしれません。
単独走行のスピードはありましたが、3 台パックになるとオーダーテイク出来るようなスピードは得られなかったです。
明日は勝ってシーズンを締めくくりたいですね。